

「瀬戸内海国立公園指折りの景勝地、寒霞溪の景観を壊す 巨大堰堤の新内海ダム事業の見直しを求める署名」のお願い

2009年10月10日

現内海ダムは「二十四の瞳」のふるさと香川県小豆島の現小豆島町別当川にS31年完成、34年多目的ダムに改築されました。香川県は阪神大震災を機に、現ダムが沈下、老朽化で地震に弱いと説明し、地元は修繕を依頼しました。それが一転して、県は治水と利水目的の巨大堰堤の新内海ダムを造る事業を土地の強制収用までして推し進めました。

しかし、この計画については、小豆島町内でも途中で合併した旧池田町の住民には十分な情報は届いていません。同じ島でも隣の土庄町の住民や小豆島以外の香川県民には全く周知されていません。

しかし瀬戸内海国立公園の中でも指折りの景勝地寒霞溪の景観や自然を壊す点と185億円の巨費を投じる点で、当該地域の住民ばかりでなく、小豆島内、香川県内、日本全国の人々にも重大な関心のある問題です。

この計画に反対している地元の人たちは、治水と利水のためとの県の主張には無理があり、新ダム直下から河口まで2kmの間の住民3000人の人命に堰堤決壊で危険を及ぼす恐れがある上、寒霞溪の景観や自然を破壊し、観光にも悪影響があると指摘しています。土地強制収用にあった地主さんたちと寒霞溪の自然を守りたいと立木トラストでささえている全国の人たちは、13名の弁護士と共に新ダム反対の立場で土地強制収用の認定取り消しを求めて、国を提訴しています。情報の公開と専門家を交えての討論会開催を県に要求し続けても認められず、裁判しか方法がなかったと聞いています。

別当川は幅数m、全長わずか4kmの寒霞溪山頂から瀬戸内海に注ぐ小さな川。新内海ダムはその中間地点の堆積地に計画され、川幅の100倍の447mという長い堰堤は途中で小山をまたぐ変形堰堤。ダム湖の奥行きが堰堤より短く、現ダムと由緒ある溜池が取り込まれます。当初の説明にない3本の断層の存在や堰堤の両端が、岩盤でなく、コンクリート塊に取り付けられる事が判明し、危惧は増すばかりです。

コンクリートから人のいのち重視へと国策が転換し、国交省が全国143ダム事業の見直しを進めている時、私たち自身が、子や孫たちの世代のことまで考えて、この新内海ダムをどうしても造る必要があるのか、他に代わりの方法はないのか、検討する責任があります。ご賛同の上署名をお寄せ下さるようお願い申し上げます。

署名簿の送付先・問い合わせ先 新内海ダム事業の見直しを求める会
〒761-4121 香川県小豆郡土庄町淵崎甲 1805-2 冨田方
Tel : 0879-62-1689

切
取
線

国土交通大臣 前原誠司 殿
香川県知事 真鍋武紀 殿
小豆島町長 坂下一朗 殿

瀬戸内海国立公園指折りの景勝地、寒霞溪の景観を壊す 巨大堰堤の新内海ダム事業の見直しを求める署名

1. 巨大堰堤の新内海ダム事業の見直しを求めます。
現在進行中のダム周辺工事を中断し、入札が行われた堰堤本体工事の予算を凍結して、当計画が最適かどうか見直すことを求めます。
2. 川の縦断・横断面図の公開に至るまで情報公開を徹底し、改正河川法に則り、環境・生態系を重んじ、住民の意見を尊重して、計画を見直す事を求めます。住民の推薦する学識経験者を加えて、公開の場での討論をへて、決定されることを求めます。
3. 見直しの結果、新内海ダム事業が止まった場合は、現内海ダムの堅牢性及び河川改修の必要性の検討を行い、必要なら補修を行う事。また、新ダム工事に伴う山の斜面破壊や盛り土により、流域住民にとって、かえって危険になった箇所への安全対策を実施することを求めます。

ジ
ス
ミ

| 氏 名 | 住 所 |
|-----|-----|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

☆署名用紙が足りない場合はコピーして署名いただけたら幸いです。

署名簿の送付先 新内海ダム事業の見直しを求める会
〒761-4121 香川県小豆郡土庄町淵崎甲 1805-2 富田方

誠にお手数ですがご返送よろしくお願ひ申し上げます。(第1次〆切11月末)